

プッシュスキャン iR-ADV

(パソコンへスキャンデータを保存)

～ Windows Vista 編 ～

プッシュスキャン ～SMB 送信設定の概略～	2
作業 1、PC 側 送信先共有フォルダーの設定	3
1-1、ユーザーアカウントの作成	4
1-1、参考：クラシックモードでユーザーアカウントを作成	8
1-2、共有フォルダーの作成	12
作業 2、iR-ADV 側の送信設定	17
設定方法 1、リモート UI から宛先の登録	18
設定方法 2、iR-ADV のタッチパネルから宛先の登録	22
本体からの送信方法	25

2009/12

プッシュスキャン ～SMB 送信設定の概略～

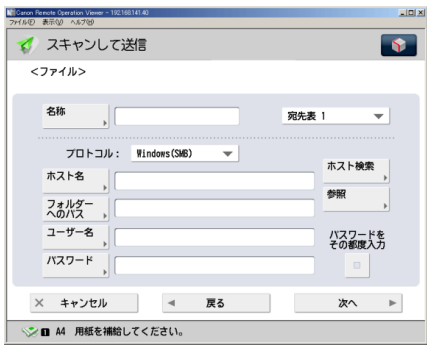
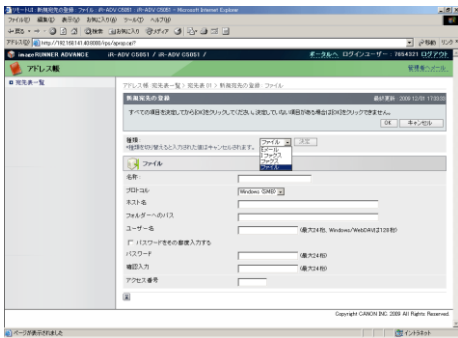
プッシュスキャンには大きく以下の2つの作業が必要です

- 作業1、PC側 送信先共有フォルダーの設定
- 作業2、iR-ADV側 送信宛先の設定

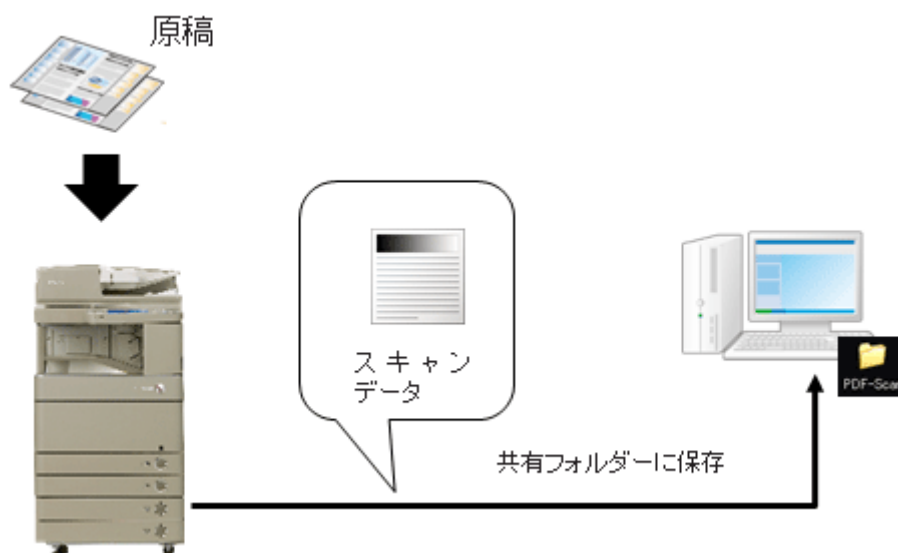
作業1、PC側共有フォルダーの設定
1-1、ユーザーアカウントの作成
1-2、フォルダーの共有設定



作業2、iR-ADV側の宛先設定
設定方法1：PC上リモートUIで設定
設定方法2：iR-ADV
タッチパネル上で設定



作業 1、PC 側 送信先共有フォルダーの設定



1-1 送信用ユーザーアカウントの作成

↓

1-2 共有フォルダーの設定

メモ

- ユーザーアカウントには、「ローカルユーザーアカウント」と「ドメインユーザーアカウント」がありますが、ここでは「ローカルユーザーアカウント」での設定方法を解説しています。
- 「ドメインユーザーアカウント」でも送信設定は可能ですが、ネットワークの環境によっては設定しても上手く動作しない場合があります。

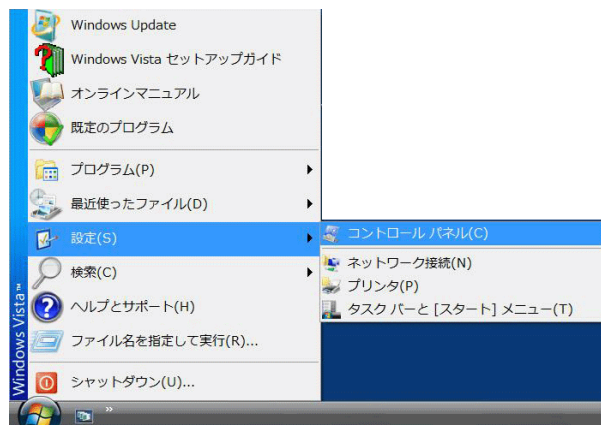
1-1、ユーザーアカウントの作成 (Windows Vista)

iR-ADV から送信用のアカウントを作成します。

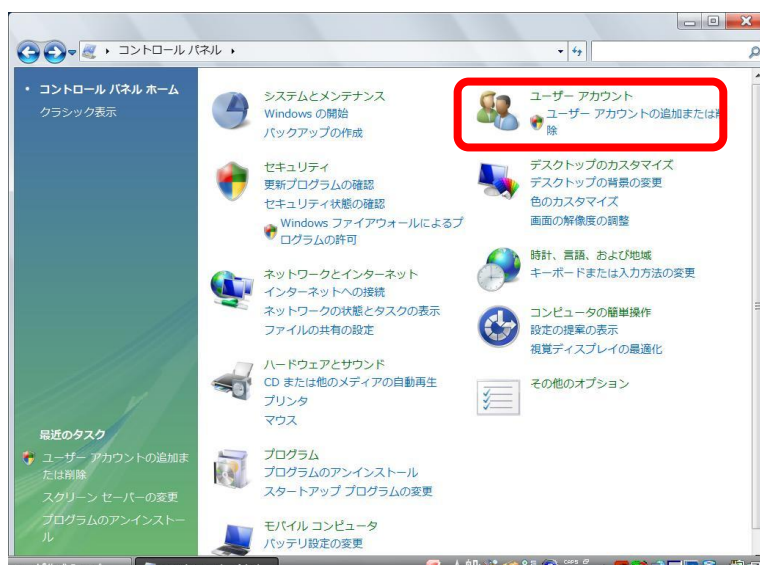
ここでは、例として「canon」というユーザーアカウントを送信先の PC に作成し、「canon」に共有フォルダー（共有フォルダー名：PDF-Scan）への書き込みの許可を設定する方法をご紹介します。

- ユーザーアカウント： canon
- パスワード： password
- 共有フォルダー名： PDF-Scan

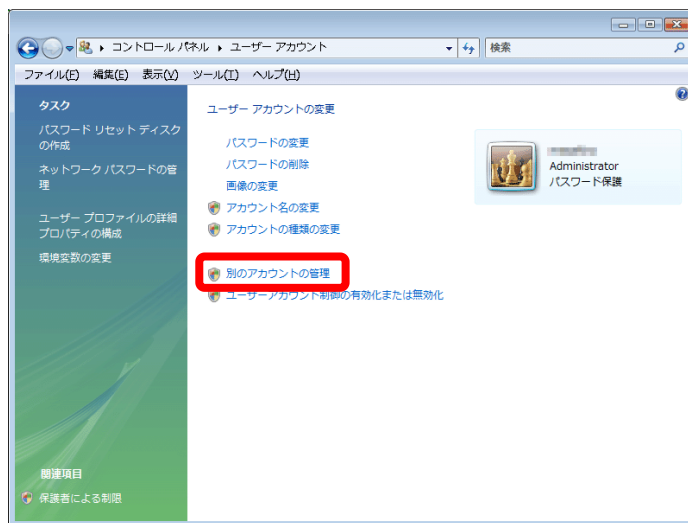
1. [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックします。



2. [ユーザーアカウント] を開きます。



3. 別のアカウントを管理をクリックします。



4. 新しいアカウントの作成をクリックします。



5. [新しいアカウント名] に「canon」と入力します。

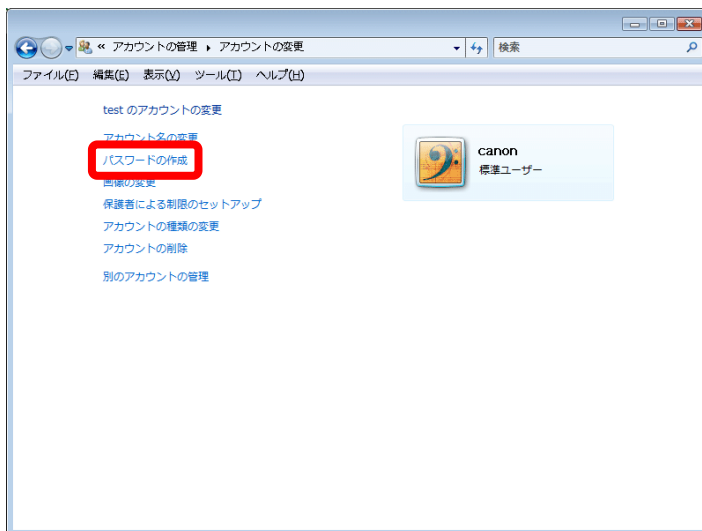
標準ユーザーにチェックが入っている状態で、アカウントの作成をクリックします。



6. ユーザーアカウントが作成されました。この状態ではパスワードが無い状態です。canon ユーザーをクリックして、次にパスワードを設定します。



7. パスワードの作成をクリックします。



8. 新しいパスワード、確認、ヒントを入力し、パスワードの作成をクリックします。

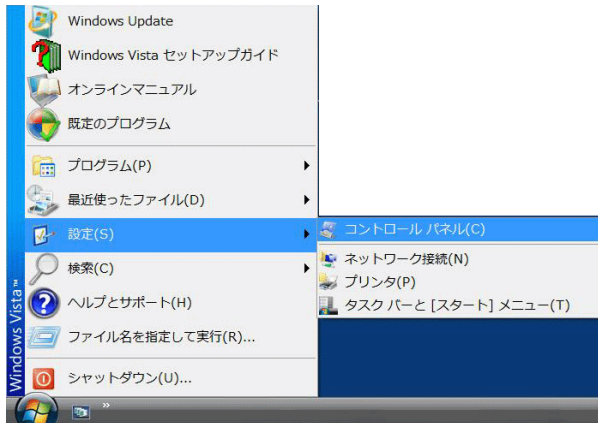
今回の設定では「password」を入力します。



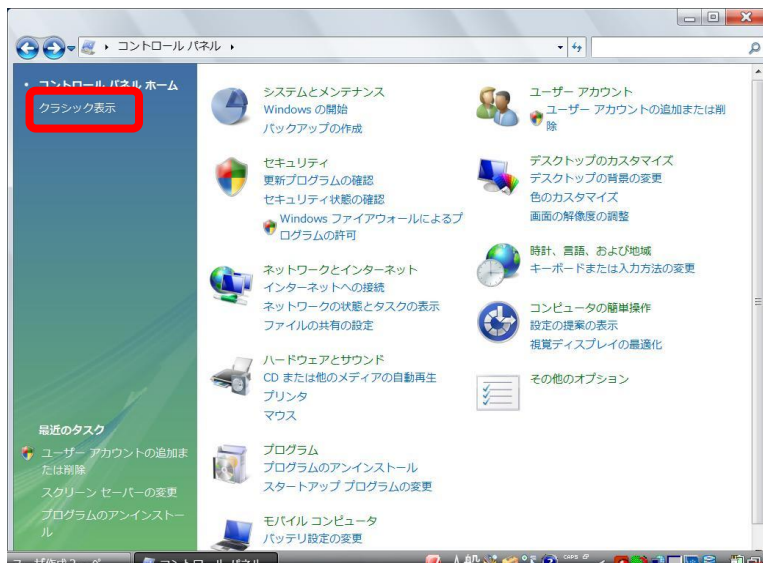
以上で、ユーザーアカウントの作成とパスワードの設定は完了です。

参考:クラシック表示で作成する場合 (Windows Vista Business)

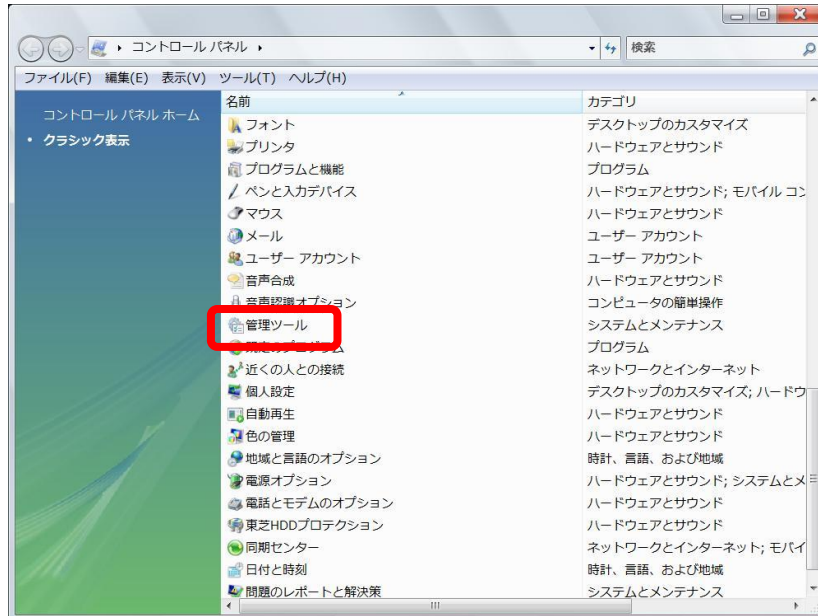
1. [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックします。



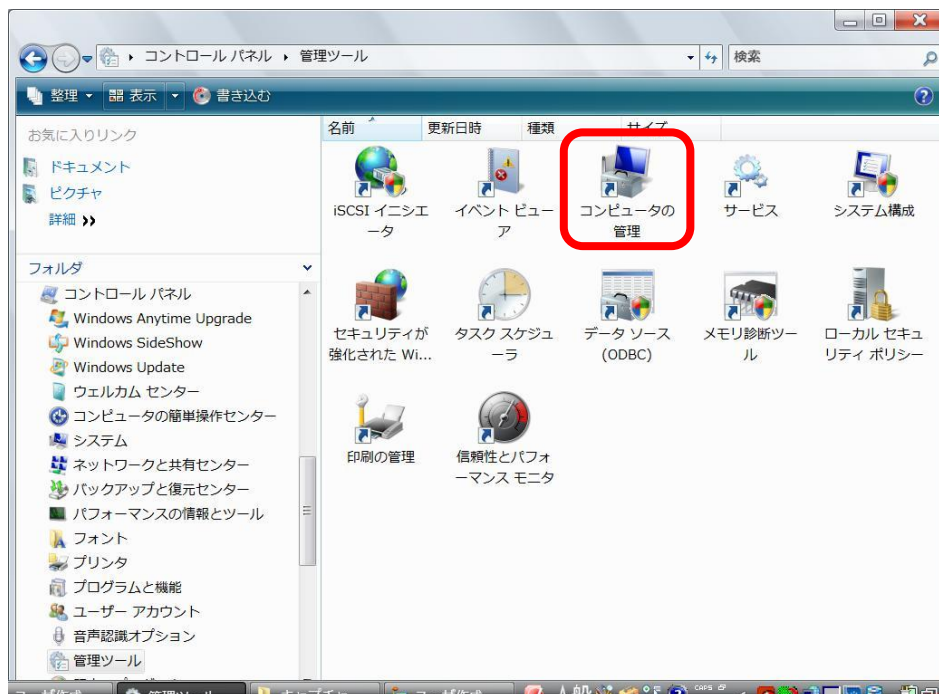
2. [クラシック表示] をクリックします。



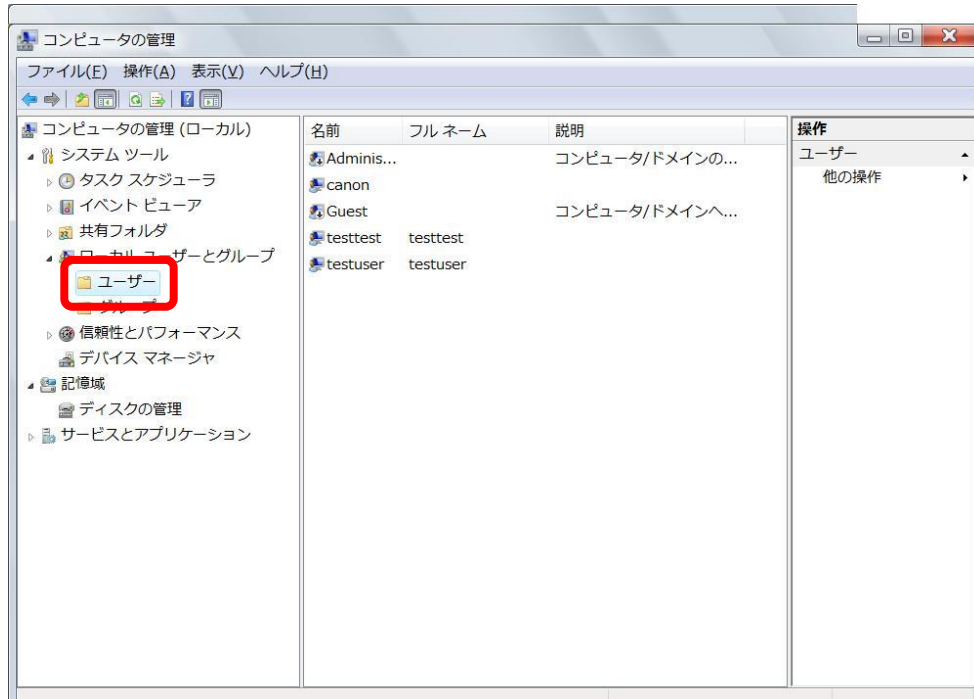
3. 管理ツールをダブルクリックします。



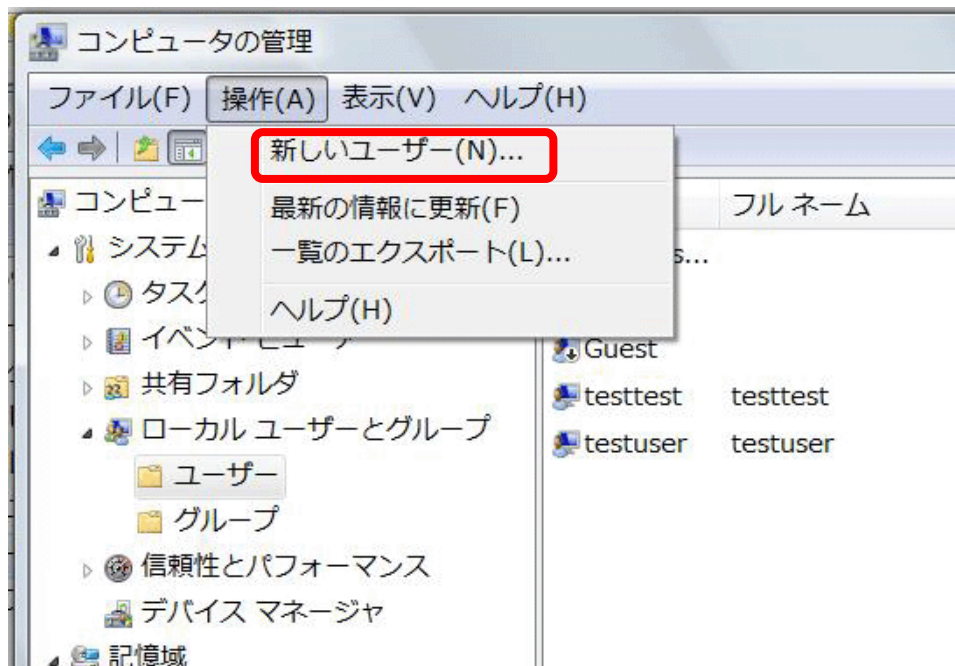
4. [コンピュータの管理] をダブルクリックします。



5. ツリーから [システムツール] → [ローカルユーザーとグループ] → [ユーザー] をクリックします。



6. [操作] → [新しいユーザー(N)...] をクリックします。



7. [ユーザー名] に「canon」と入力します。次に、[パスワード] [パスワードの確認入力] へパスワードを入力します（ここでは「password」と入力しています）。

新しいユーザー

ユーザー名(U): canon

フルネーム(F):

説明(D):

パスワード(P): ●●●●●●●●●●

パスワードの確認入力(C): ●●●●●●●●●●

ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

ユーザーはパスワードを変更できない(S)

パスワードを無期限にする(W)

アカウントを無効にする(B)

ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(O)

8. [ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要] チェックボックスをオフにします。次に、[パスワードを無期限にする] チェックボックスをオンにし、[作成] を押します。

新しいユーザー

ユーザー名(U): canon

フルネーム(F):

説明(D):

パスワード(P): ●●●●●●●●●●

パスワードの確認入力(C): ●●●●●●●●●●

ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

ユーザーはパスワードを変更できない(S)

パスワードを無期限にする(W)

アカウントを無効にする(B)

ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(O)

以上で、ユーザーアカウントの作成とパスワードの設定は完了です。

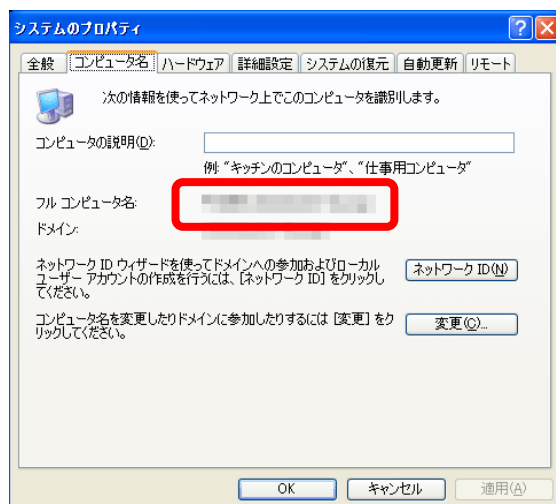
1-2、共有フォルダーの作成 (Windows Vista)

iR-ADV からの送信先となる「共有フォルダー」(共有フォルダー名:PDF-Scan)を該当 PC のデスクトップ上に作成します。

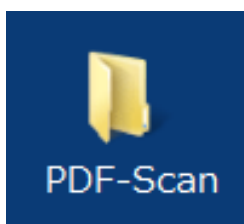
1. [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]→[コンピューター名]タブでコンピューター名を確認します。

※この作業は共有フォルダーの作成には直接関係有りませんが、iR-ADV からの送信先設定時に必要となりますので、このタイミングで確認しておく便利です。

ここでは、仮にコンピューター名を「PC1」とします。

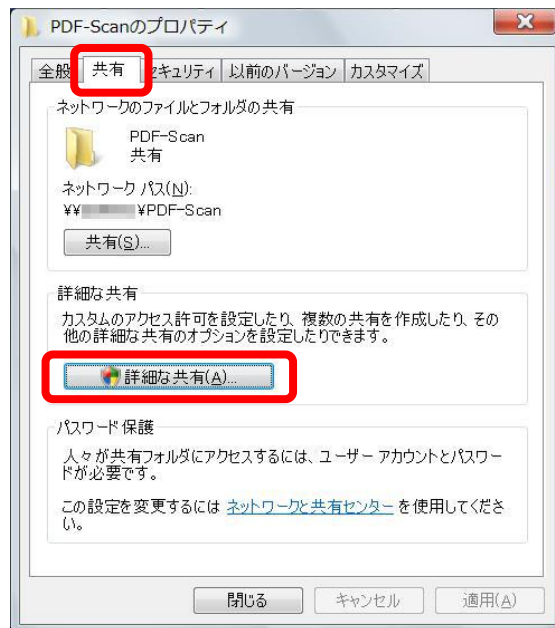


2. デスクトップ上で右クリックして、[新規作成]→[フォルダー]で新規フォルダーを作成した後、フォルダーの名称を「PDF-Scan」に設定します。



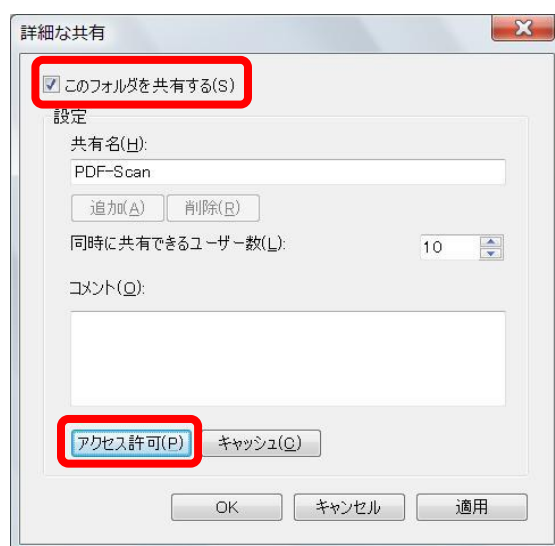
3. 共有のアクセス権の設定①

「PDF-Scan」フォルダーを右クリックして、[プロパティ]を選択し[共有]タブで[詳細な共有]をクリックします。



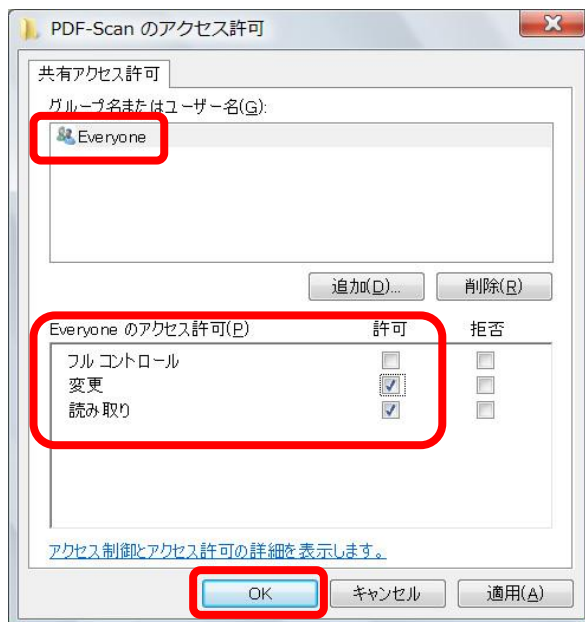
4. 共有のアクセス権の設定②

「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。



5. 共有のアクセス権の設定③

Everyone に変更の許可権限を加え、OK をクリックします。

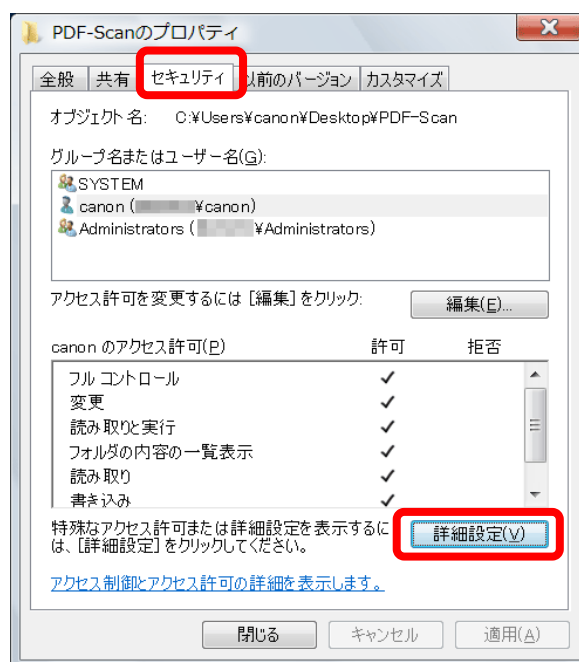


6. セキュリティのアクセス権の設定①

(手順 1-1 で作成しておいたユーザーアカウントを追加します。)

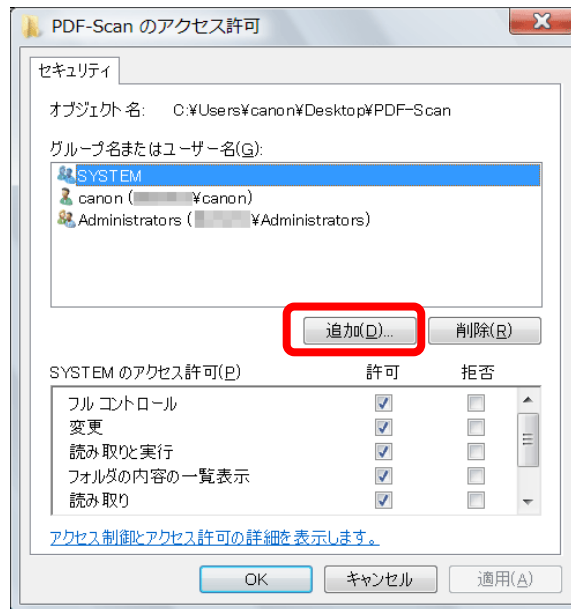
セキュリティタブをクリックします。

「詳細設定」をクリックします。



7. セキュリティのアクセス権の設定②

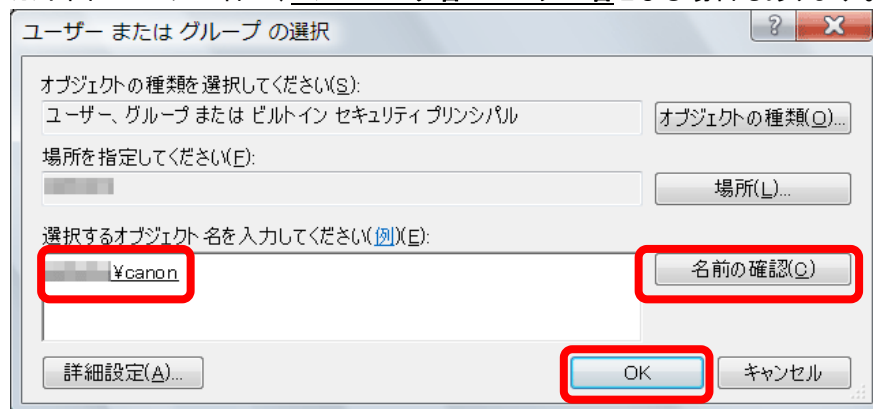
「追加」をクリックします。



8. セキュリティのアクセス権の設定③

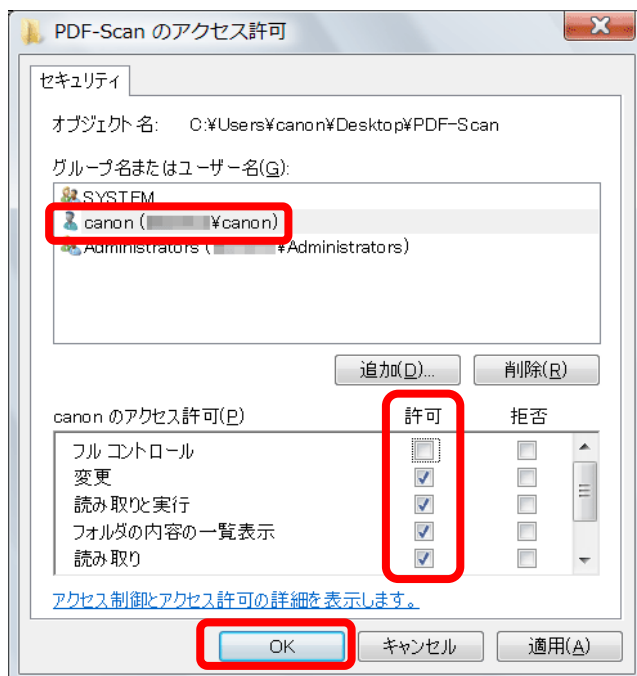
「選択するオブジェクト名を入力してください」の欄に、あらかじめ用意しておいたユーザーアカウント名(今回は canon)を入力し、「名前の確認」をクリックします。ユーザー名に下線が入ったら、「OK」をクリックします。

※下図: ユーザー名が、コンピュータ名¥ユーザー名となる場合もあります。

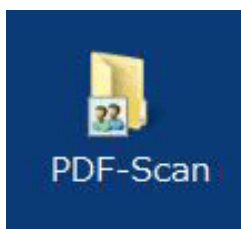


9. セキュリティのアクセス権の設定④

グループ名またはユーザー名 の欄に「canon」が入っていることを確認し、変更のアクセス許可にチェックが入っていることを確認したら、「OK」をクリックします。

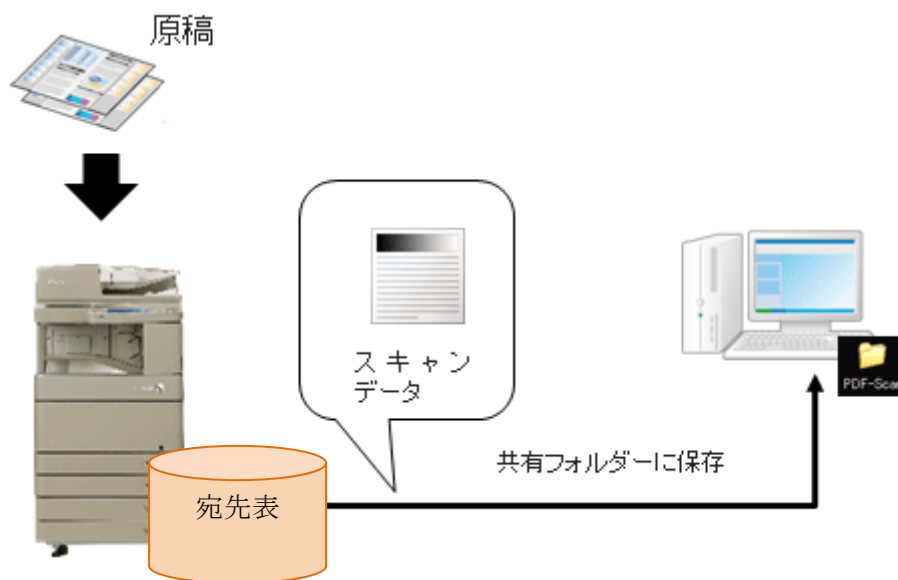


これで、データ送信先の共有フォルダーが作成されました。
※顔のマークがフォルダーに付きます。

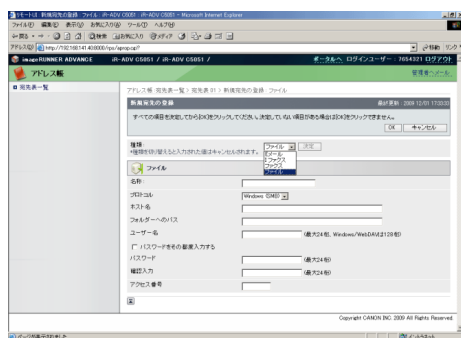


作業 2、iR-ADV 側の送信設定

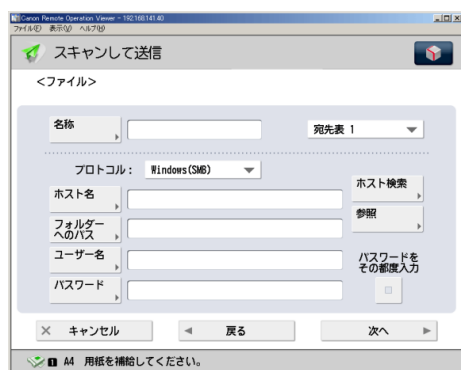
iR-ADV から送信する際の、送信先共有フォルダーを宛先として指定します。
大きく2つの方法があります。



設定方法1、リモート UI から設定



設定方法2、iR-ADV タッチパネルから設定

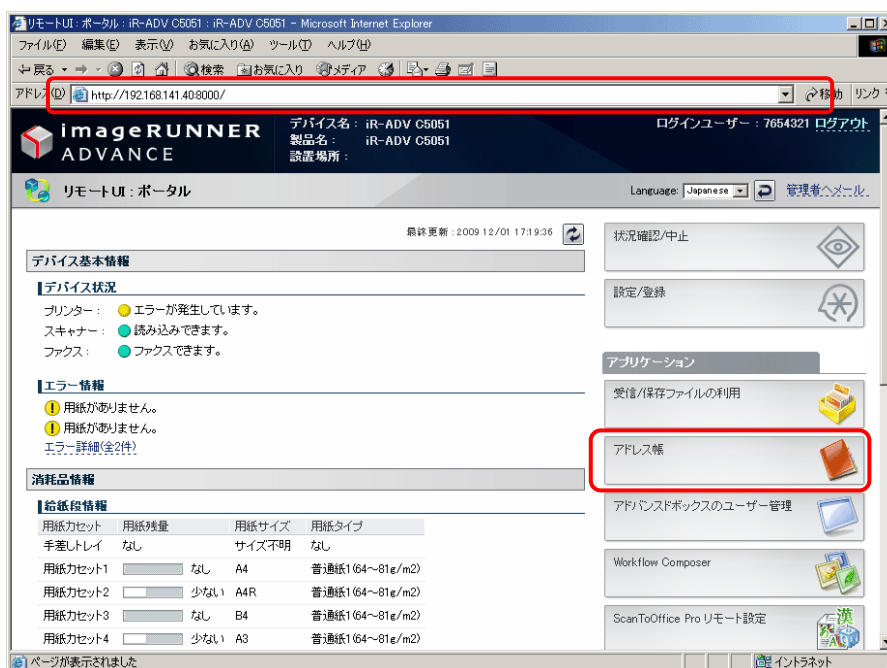


設定方法1、リモート UI から宛先の登録

リモート UI を使用すると効率よく宛先を登録できます。

1. Web ブラウザーを起動して[アドレス]に本製品の IP アドレスを入力します。

http://<本製品の IP アドレス>



リモート UI の画面が表示されます。

メモ

- 本製品の IP アドレスは、操作パネルで (初期設定/登録) を押して以下の手順で確認できます。

(設定/登録) → [ネットワーク設定] → [IPv4 設定] → [IP アドレス設定]

※リモート UI でアクセスできない場合

- アクセスできない場合は、以下の手順でプロキシの除外設定を行ってください。

- Internet Explorer → メニューバー → [ツール] → [インターネットオプション] → [接続] タブ → [LAN の設定] をクリックします。
- 『プロキシサーバーを使用する』にチェックを入れ、[詳細] ボタンをクリックします。
- 『例外 次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない』の空欄に本製品の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

※Web ページにメッセージが表示されリモート UI にアクセスできない場合

○Web ページが切れました:

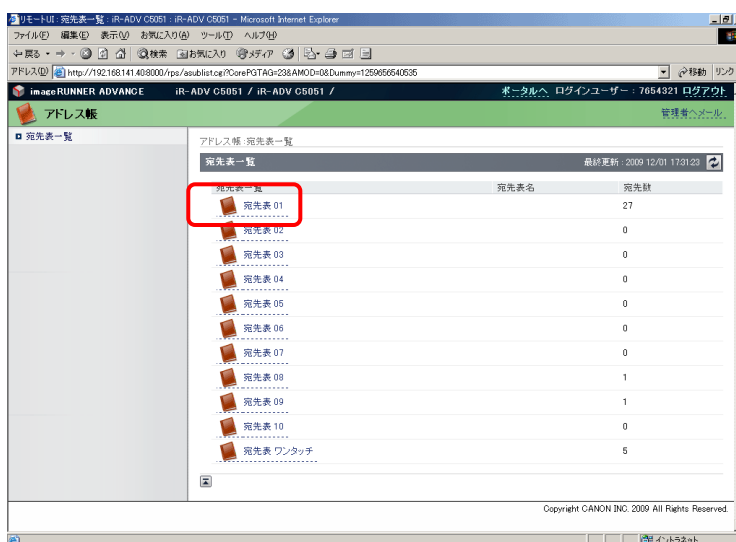
- メニューバーの [ツール] から [インターネットオプション] を選択し、「全般」タブの「インターネット一時ファイル」で [ファイルの削除] をクリックします。

- (2) ファイルの削除画面で[すべてのオフラインコンテンツを削除する]にチェックを入れて[OK]をクリックしたあと、ブラウザを再起動して再度リモート UI にアクセスしてください。

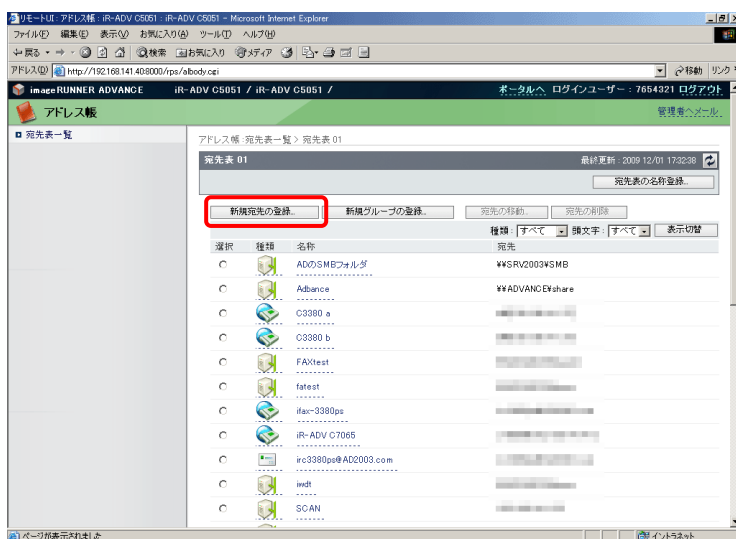
○HTTP 404 File Not Found:

IP アドレスが正しいかを確認してください。本体のネットワーク設定の IP アドレスの範囲設定をご確認ください。

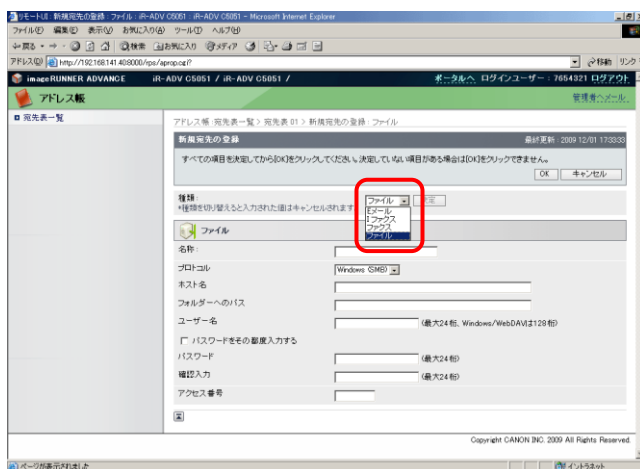
2. [アドレス帳]をクリックし、表示される宛先表画面で[宛先表 01]をクリックします。(登録したい宛先表グループを選択します)



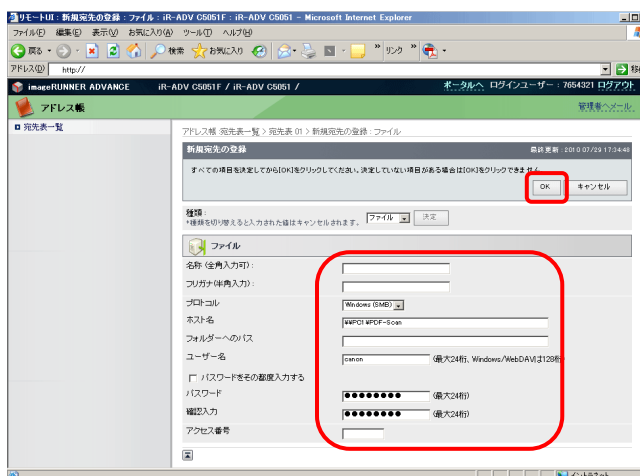
3. [新規宛先の登録]をクリックします。新規宛先登録画面が表示されます。



4. 種類で[ファイル]を選択し、[決定]を押下します。



5. 表示される「宛先の登録 ファイル」画面で各項目を設定したあと、[OK]をクリックします。



- | | |
|-----------|---|
| 名称 | 宛先の名称を入力します。任意の名称をつけることができます。 |
| プロトコル | 「Windows (SMB)」を選択します。 |
| ホスト名 | ¥¥コンピューター名¥共有フォルダー名
今回の場合は ¥¥PC1¥PDF-Scan 「共有フォルダーを作成」の手順
であらかじめ確認したコンピューター名を入力します。 |
| フォルダーへのパス | PDF-Scan の中にサブフォルダーを作成し、送信する場合
「¥サブフォルダー名」と入力します。サブフォルダーがない場合は、
入力しません。 |
| ユーザー名 | 送信者用のユーザーアカウント名(あらかじめ作成してある)を入力
します。この資料の解説では、ユーザーアカウント名 : canon |
| パスワード | 上記ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
この資料の解説では、パスワード : password |
| アクセス番号 | 必要に応じて設定します。アクセス番号を設定して、それぞれの宛
先の表示を制限し、関係者以外の目に触れないようにできます。 |

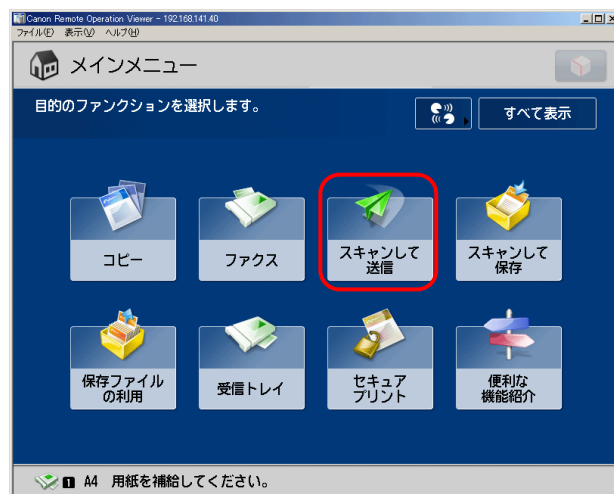
設定方法2、iR-ADV のタッチパネルから宛先の登録

タッチパネルからも宛先を登録できます。

ここでは、例としてワークグループ名が「swan」、送信先 PC 名が「PC1」という環境だと仮定し、ユーザーアカウント「canon」で送信設定を行う方法をご紹介します。

- ユーザーアカウント : canon
- パスワード : password
- 共有フォルダー名 : PDF-Scan
- ワークグループ : swan
- 送信先「PC」: PC1

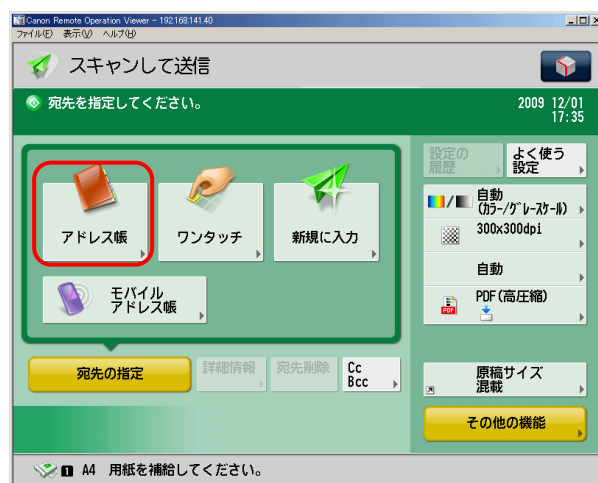
1. タッチパネルディスプレイで[スキャンして送信]を選びます。



メモ

[スキャンして送信]が表示されていない場合は、[すべて表示]を押します。

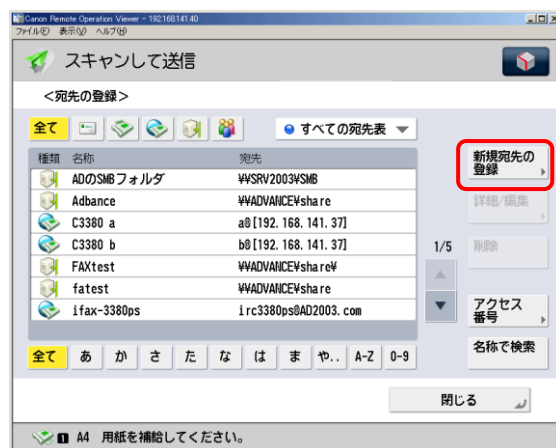
2. [アドレス帳]を選択します。



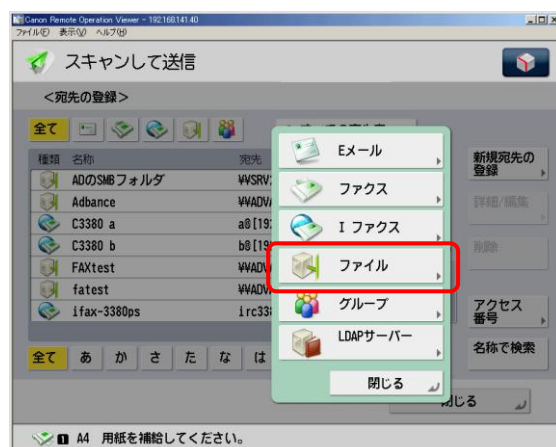
3. 「登録」を選択します。



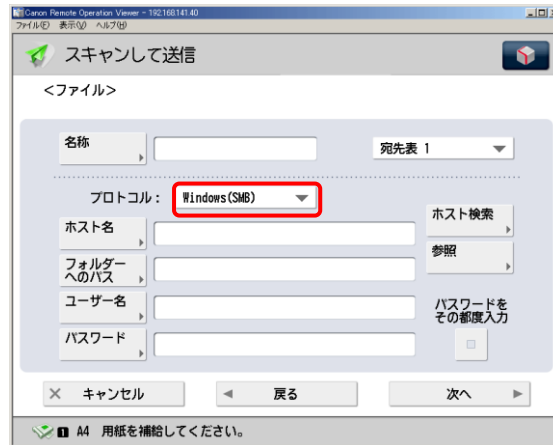
4. 「新規宛先の登録」を選択します。



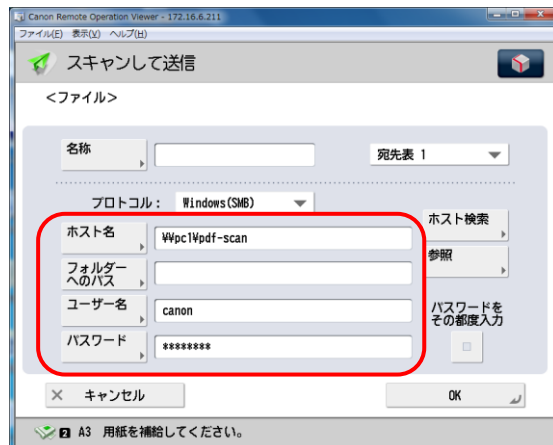
5. 「ファイル」を選択します。



6. プロトコルのドロップダウンリストから「Windows(SMB)」を選択します。



7. 登録する宛先の名称を入力し、(任意の名称:宛先選択の場合の表示名)「ホスト名」、「フォルダーへのパス」、「ユーザー名」、「パスワード」へあらかじめ設定、確認しておいた内容を入力し、次へ、OK とボタンを押します。



以上で、宛先の登録できます。

メモ

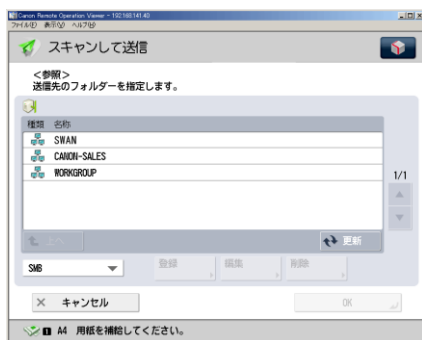
「ホスト名」には共有フォルダーまでを入力します。

例: ¥¥コンピューター名 ¥共有フォルダー名

「フォルダーへのパス」には共有フォルダー以降のパスを記載します。

例: ¥フォルダーパス

8. コンピュータ名がわからない場合など、ネットワーク上のコンピューターを「参照」して送信宛先を設定することが可能です。
手順6、で参照ボタンを押し、以下の画面から必要な共有フォルダーを参照し、設定を進めます。この場合「PC1」はワークグループ名 : swan に所属している
ので swan から順に選択していきます。



9. 送信先 PC を選択して「下へ」を押します。
10. ネットワークパスワードの入力画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。
11. 「下へ」を押して送信するフォルダーを選択した後、「下へ」を押します。最後に OK を押します。
これで、手順7と同等の状態になります。

メモ

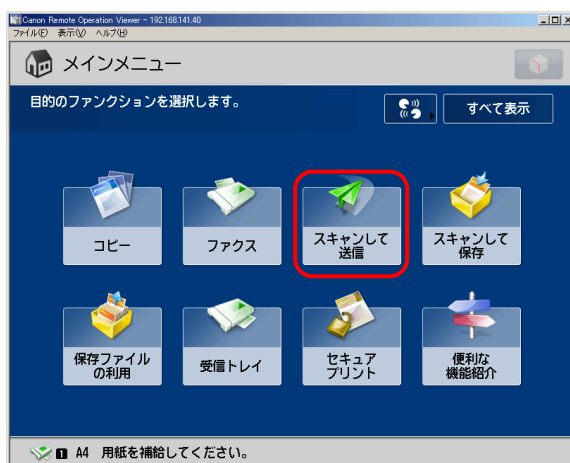
参照ボタンでネットワークに接続されたコンピューターが表示されない場合
ホスト名の入力欄に『IP アドレス』を入力します。コンピューターの IP アドレスは以下のような方法で確認することが可能です。

- コマンドプロンプトから確認する方法
[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックしたあと、「cmd」を入力します。[OK]をクリックすると DOS コマンドへ移行するので、「IPCONFIG/all」を入力します。Enter キーを押すと、コンピューターの IP アドレスが確認できます。
- マイネットワークから確認する方法
Windows XP/Vista の場合は、マイネットワークを右クリックしたあと、[プロパティ]を選択し、ネットワーク接続を表示します。[ローカルエリア接続]を右クリックして[プロパティ]を選択したあと、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択します。[プロパティ]をクリックすると、[全般]タブが表示され、コンピューターの IP アドレスが確認できます。

本体からの送信方法

例: あらかじめ設定した送信宛先(PCの共有フォルダー)へ、高圧縮PDFで原稿を読み込み、送信する場合

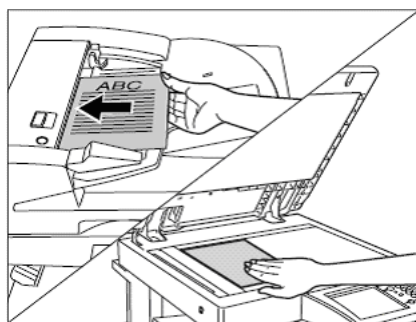
1. タッチパネルディスプレイから[スキャンして送信]を選択します。



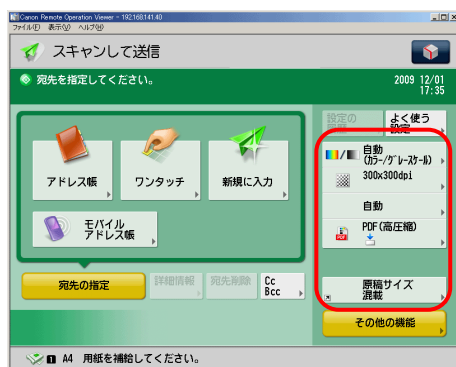
メモ

[スキャンして送信]が表示されていない場合は、[すべて表示]を押します。

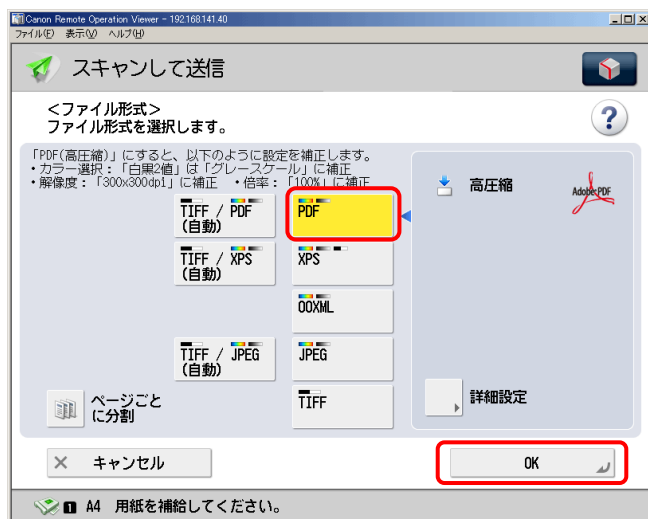
2. 原稿をフィーダーにセットします。



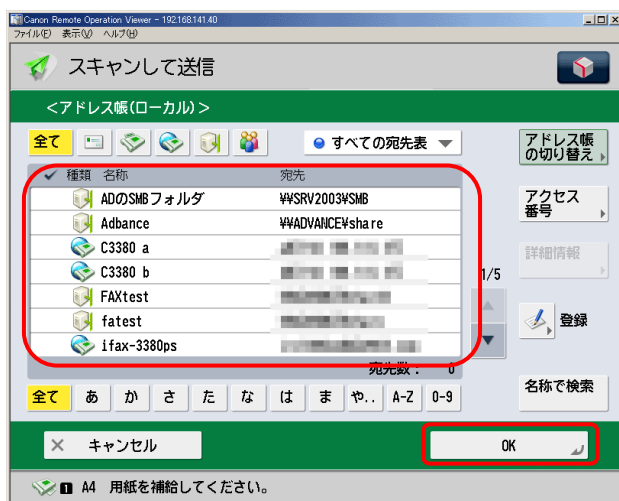
3. 必要に応じて[ファイル形式]を選択します。



4. 今回は[PDF]と[高圧縮]を選択して、[OK]を押します。



5. [宛先の指定]を押したあと、宛先を選択し、OKを押します。



6. (スタート)を押します。

原稿が PDF 化されて送信され、共有フォルダーに保存されます。

送信文書名は、年月日時間の数字が羅列されます。「年月日時間」の前に任意の文字入力追加もできます。

例: 20091202170012.pdf